

【目的】

看護チームの一員の体験、夜間実習、複数患者の受け持ちを通して、継続した看護の提供を学ぶ。

【目標】

1. 病棟管理者の役割を体験し、病棟管理の実際を知ることができる。
2. 多職種連携を図りながら、看護チームの一員としての看護実践を体験できる。
3. 複数患者の看護を優先順位と時間管理を考慮して実践できる。
4. 夜間の入院患者の状況、看護体制や業務を知る。

	点/100点
(優 良 可 不可)	

学習活動	具体的な評価規準	評価資料	評価	評価基準				ポイント
				A (15・10・5)	B (12・8・4)	C (9・6・3)	D (6・4・2)	
1. 実習目的に照らし合わせて、学習課題に沿った必要な学習をする。	(1) 実習目的達成に向けて、既習学習を活かしながら必要な学習を行い実習に臨んでいる。 10	自己学習 ビジョン・ゴールシート インパクトシート 振り返り用紙		実習目標達成に向けて必要な学習を行い、日々の実習に活用し、学習を深めることができている。	自己の実習内容に必要な学習を行うことができている。	指定された学習ができている。	Cができていない。	看護管理、看護師の役割、チーム医療、夜間の看護
2. 病棟管理者の役割を体験し、病棟管理の実際を知る。	(2) 看護部門の組織や看護体制について学ぶことができている。 5	インパクトシート 振り返り用紙		看護部門の組織や看護体制について、オリエンテーションや見学した内容を自己学習と照らし合わせて学び、自己の考えを述べている。	看護部門の組織や看護体制について、オリエンテーションや見学した内容を自己学習と照らし合わせて学んでいる。	看護部門の組織や看護体制について、オリエンテーションや見学した内容を把握している。	Cができていない。	看護管理、病院組織機能、看護理念、看護方式、看護部の役割、病院看護機能評価、施設・設備管理、夜間の管理体制、病床管理、安全管理、物品管理、リスクマネジメント、スタッフ・学生の教育、職員の健康管理、
	(3) 病棟管理の実際を体験し、病棟管理者の役割を学ぶことができている。 5	インパクトシート 振り返り用紙		病棟管理者の役割について、オリエンテーションや見学した内容を自己学習と照らし合わせて学び、自己の考えを述べている。	病棟管理者の役割について、オリエンテーションや見学した内容を自己学習と照らし合わせて学んでいる。	病棟管理者の役割について、オリエンテーションや見学した内容を把握している。	Cができていない。	
3. 看護チームの一員としての看護実践を体験し、保健医療福祉チームにおける看護の役割と機能を理解する。	(4) 看護チームの一員としての看護実践を体験し、多職種との連携を知ることができている。 5	インパクトシート 振り返り用紙		看護師の役割や多職種連携について体験を通して経験したことと自己学習を照らし合わせて学び、自己の考えを述べている。	看護師の役割や多職種連携について体験を通して経験したことと自己学習を照らし合わせて学んでいる。	看護師の役割や多職種連携について体験を通して経験したことを把握している。	Cができていない。	多職種との連携 看護師の役割 チーム医療 リーダーシップ メンバーシップ 報告連絡相談
	(5) 看護チームの一員として、報告連絡相談を行うことができる。 10	インパクトシート 振り返り用紙 対話 観察		看護チームの一員として、適時・適切な内容で報告連絡相談を行うことができている。	報告連絡相談を行っているが、タイミングに課題がある。	報告連絡相談を行っているが、タイミングや内容に課題がある。	報告連絡相談を行うことができない。	

4. 複数患者受け持ちを行い、優先順位と時間管理を考慮し安全に実践する。	(6) 複数の患者を受け持ち、看護に必要な情報を把握できている。 10	インパクトシート 振り返り用紙 基本情報 分析シート	複数の患者を受け持ち、看護に必要な情報収集を行い、援助に必要な情報の整理ができ、援助の必要性を考えている。	複数の患者を受け持ち、看護に必要な情報収集を行い、援助に必要な情報の整理ができているが、援助の必要性は整理できていない。	複数の患者を受け持ち、看護に必要な情報を得ているが、情報の整理はできていない。	Cができていない。	療養経過 情報のアセスメント 援助の必要性
	(7) 複数の患者を受け持ち、優先順位と時間管理を考慮した援助計画を立案できる。 10	看護計画 体温表 対話 ポートフォリオ	複数の患者を受け持ち、優先順位と時間管理を考慮した援助計画を立案している。	複数の患者を受け持ち、時間管理を考慮し援助計画を立案しているが、優先順位に課題がある。	複数の患者を受け持ち、援助計画を立案しているが、優先順位・時間管理ともに課題がある。	複数の患者の援助計画を立案することができない。	優先順位 時間管理
	(8) 複数の患者を受け持ち、計画に基づき安全・安楽な援助を実践できる。 10		複数の患者を受け持ち、安全・安楽な援助を計画し実践している。	複数の患者を受け持ち、安全な援助を実践しているが、患者の状態や生活を理解した安楽な援助には課題がある。	複数の患者を受け持ち、援助を実践しているが、危険性に気づかず実践している。	安全・安楽な援助の実践ができない。	安全・安楽・援助の実践
	(9) 複数の患者を受け持ち、安全・安楽な視点をもとに評価できる。 10		複数の患者を受け持ち、実践した援助を安全・安楽な視点をもとに評価を行い、看護計画に追加修正している。	複数の患者を受け持ち、実践した援助を安全・安楽な視点をもとに評価を行っているが、看護計画への追加修正には課題が残る。	複数の患者を受け持ち、実践した援助の評価を行っているが評価視点に課題が残る。	実践した援助の評価をおこなっていない。	安全・安楽な視点での評価
5. 夜間の入院患者の状況、看護体制や業務を知ることにより、看護の実際を理解する。	(10)夜間の患者の反応を観察できる。 5	インパクトシート 振り返り用紙	夜間での患者の反応を観察し、日中との違いや患者の心理的变化について、自己学習と照らし合わせ考えている。	夜間での患者の反応を観察し、日中との違いを把握でき、心理的变化に気づいている。	夜間での患者の反応を観察しているが、日中との違いを把握することができていない。	夜間の患者の反応を捉えることができない。	夜間の患者の反応 夜間の病床環境
	(11) 夜間の看護体制や業務を体験し学ぶことができる。 5	インパクトシート 振り返り用紙	夜間の看護体制や業務を体験し、自己学習と照らし合わせて学び、自己の考えを述べている。	夜間の看護体制や業務を体験し、その内容を把握している。	夜間の看護体制や業務を体験したが、その内容の把握に課題が残る。	夜間の看護体制や業務を体験することができていない。	夜間の看護業務
6. 看護がチームで活動する意味を理解する。	(12)患者の安全安楽を守るために看護がチームで活動する意味を理解する。 15	インパクトシート 成長報告書 凝縮ポートフォリオ	体験したことを学習と照らし合わせながらその意味を考え、患者の安全安楽を守るために看護がチームで活動する意味について自己の考えを具体的に自分の言葉で表現できている。	体験したことの意味を考え、患者の安全安楽を守るために看護がチームで活動する意味について自己の考えを自分の言葉で表現できている。	患者の安全安楽を守るために看護がチームで活動する意味について表現できている。	Cができていない。	看護チームの一員として看護実践を行うために必要な知識・技術・態度の意味付け

実習指導者コメント <div style="text-align: center;">印</div>	担当教員コメント <div style="text-align: center;">印</div>
---	--